

パネルで見る災害の脅威と防災・減災対策

—大野市と福井市で「防災パネル展」を開催—

—真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン— 九頭竜川ダム統合管理事務所

九頭竜川流域の大野市及び福井市において「防災パネル展」を開催しました。

このパネル展は、大きな被害をもたらす台風や地震などへの防災・減災への意識向上を目的として、真名川ダム建設の契機となった奥越豪雨(昭和40年9月)から50年の節目となる平成27年より水源地域ビジョンの取り組みの一環として実施しているものです。

奥越豪雨による旧西谷村の災害などの貴重な過去の災害記録、国土交通省の近年の災害対応状況、ダムの役割などの紹介を行いました。

過去の災害記憶を思い返す方や、近年頻発している風水害や地震災害への関心の高まりからか、幅広い年齢層の方が足を止めて熱心にご覧になりました。

◇大野市会場: ヴィオ(大野市鞆掛), 開催期間: 平成28年10月25日(火)～10月30日(日)



◇福井市会場: エルパ(福井市大和田), 開催期間: 平成28年11月24日(木)～11月29日(火)



【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)